

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

1、概要

報告日	西暦 2020 年 7 月 28 日
報告者	石部南学区まちづくり協議会 事務局長 土居憲昭
助成団体名 (所属団体名)	石部南学区まちづくり協議会
団体住所	〒 520-3108 滋賀 <small>都道府県</small> 湖南市石部南3丁目5-1
団体電話番号	0748 — 77 — 2535
代表者 (助成対象者)	石部南学区まちづくり協議会 会長 甲斐正信
助成対象事業	こども学習塾『寺子屋』
事業（助成）期間	2018 年 4 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日
事業費総額	846,690 円
助成金総額	216,000 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は**最小限度**に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は必ず**撮影対象の方に事前に了承**を頂くようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

2、事業内容

1. 事業名：こども学習塾『寺子屋』⇒ 2017年4月～実施中
2. 対象：石部南学区内（石部南小学校及び石部中学校）の児童・生徒
3. 参加費：無料
4. 開催日及び時間：毎週土曜日（原則）2年間で66日実施、午前9時～12時
5. 累計参加人数：982名（平均：15名／日）
6. 講師：約4名／日（小学校講師、大学生、その他経験者）
7. 費用合計：846,690円／2年間、（内、助成金216,000円）
8. その他団体助成金：湖南省市よりの助成金（450,000円／2年間）

3、事業成果

【 参加した児童・生徒の声 】

- ① 発達障がいの子もマンツーマンなので、学校で分からなくて聞けなかった事を気軽に聞けるので大変良いと好評。
- ② 学校では、恥ずかして聞けないが、ここでは分かるまで教えてもらえるので、大変助かります。
- ③ 自分のペースで勉強できるし、友達とも教え合いながら出来るのが良い。
- ④ 自宅では、弟や妹の面倒を見なければいけないが、『寺子屋』に行くと言えば許可が出るので大変良い。
- ⑤ 弟や妹も一緒に連れてくれば、講師の先生が見てくれるので、ここでは自分の勉強に集中出来て大変助かる。
- ⑥ 『寺小屋』に行くのが待ち遠しい。

【 その他の成果 】

- ① 発達障がい児や日系外国人の児童・生徒が多数参加してくれている。
- ② キャスター付きのテーブルに替えてから、後片付け（掃除や机の片付け）も積極的にやってくれている。
- ③ テーブルの配置を要望に応じて、窓側向きにも設置して、集中して勉強できると好評です。
- ④ 講師の先生とも相談して、それぞれの子供に合ったテキストを取り入れる等の工夫をして好評である。

4、今後の課題など

【 今後の課題 】

- ① 2020年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、実施出来ないという決定を致しましたが、今後、継続して行くためには年間約400,000円の経費をどうやって確保していくかが、大きな課題である。
- ② 継続して行くためには、下記のような対策が必要。
 - ・開催日数の削減
 - ・講師人数の削減
 - ・参加費の徴収
 - ・助成金制度の活用
- ③ 大学生は、順次卒業していくので、講師の確保が大変。
- ④ 学習塾『寺子屋』は、『こども食堂』に参加してくれた子ども達からの要望で平成28年4月から開始して丸4年が経過した。
令和2年は、コロナ禍の中での開催を模索したが、諸般の事情により、実施は難しいとの判断で、中止することを決断したが、この4年間で一定の効果はあったと判断している。
- ⑤ 令和3年度は、諸般の事情（コロナの終息、予算の確保等）により、実施できるかどうかは不確定である。